

にしもろ基幹相談支援センター研修

2月7日高原町ほほえみ館で研修を開催致しました。

今年年明け早々に能登半島地震が起きました。そこで、今年の高原町の研修は、防災意識を高め、同時に障がい者を含めた要援護者、要避難者の避難行動への備えや意識を持つきっかけにしておくと、『避難所運営ゲーム「HUG」』を活用し、地域間交流を目的に行いました。



避難所運営ゲーム「HUG」とは、避難所運営をみんなで考えるためのひとつのアプローチとして開発されたゲームで、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。

研修には、高原町内の民生委員さんや、福祉事業所の職員、行政職員など多くの方々に参加いただきました。皆さんそれぞれの立場で、活発な議論を交わしながら、障害のある方、外国人旅行者、高齢者など、配慮が必要とされる方が避難してきた場合に、誰にどのエリアで過ごしてもらうのかを検討されていました。

当初ゲーム時間を1時間と予定していたのですが、緊急時の対応は想像以上に難しく、予定の時間内に全てのカードを配置し終える事はできませんでした。今回研修を通して、我々を含め地域全体でもっともっと災害時、緊急時に対する備えを平時から行っておく事が大事であると改めて感じる事ができました。



研修に参加していただいた方々の感想を一部ご紹介

・譲り合い・助け合いがとても大切だと思い、日頃から心がけておかなければと改めて感じると共に、実際災害が起きた時の事を考えると今日の研修はとても貴重だったと思った。(福祉事業所)

・初めての研修でしたが、全てが難しいと感じた。ペットの件、認知症等さまざまな条件の人を振り分ける配慮が難しいと思った。今回の状況が全てカードであるにも関わらず、どう対応していいのかわからず話し合う場面もあった。やはり事前に準備をしておく事が大切だと感じた。今回の研修は、今後災害が起きた時自分達の準備をする事等とも考える機会となった。(民生委員)

・事前の準備や決め事をしていかないと急に対応をせまられた場面で困ると感じた。(福祉事業所)

今回研修に参加していただいた皆様、お忙しい中ご参加ありがとうございました。

また今回研修のお手伝いをしてくださった小林市内の相談支援事業所(自立支援協議会メンバー)の皆様もご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先

にしもろ基幹相談支援センター

TEL:0984-22-2373